

広報

おいらせ

2

Public Relations
2021 No.192

【表紙】

きれいになった「日本一の自由の女神像」—P19

今月のピックアップ記事

- ▶ 特集 町のごみを減らそう! —P4
 - ▶ 特集 東日本大震災から10年
～「いつかくる自然災害」に備える～—P6
 - ▶ 町会計年度任用職員を募集します—P10
 - ▶ 町公式LINEをはじめました—P27
 - ▶ Person OIRASE「赤石英二さん」—(裏表紙)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、
中止する行事・イベントがあります。(関連2ページ)

発熱などの症状がある場合は ご相談ください

新型コロナウイルス感染症が再び猛威を振るっています。
発熱などの症状がある場合は、次のとおりご相談ください。

発熱などの症状がある場合……

●かかりつけ医のいる方

まずはかかりつけ医に電話で相談してください。

●かかりつけ医のいない方、相談先が分からない方

青森県新型コロナウイルス感染症コールセンター
(☎0120-123-801)に電話で相談してください。

●新型コロナウイルス感染症患者と接触したなど、 心当たりがある方

受診・相談センター(おいらせ町民は三戸地方保健所
☎0178-27-5111)に電話で相談してください。



その他、新型コロナウイルス感染症について、不明な点や
確認したいことがあれば、青森県新型コロナウイルス感染症
コールセンターにお問い合わせください。

※24時間対応。土・日、祝日も受け付けています。

問 青森県新型コロナウイルス感染症コールセンター
☎0120-123-801 (フリーダイヤル)

行事・イベントの中止

新型コロナウイルス感染症の影響により、次の行事・イベントを
中止します。ご理解のほどよろしくお願いします。

行事・イベント名	当初予定日	方針	お問い合わせ
百石えんぶり	2月15日～17日	中止	社会教育・体育課 ☎0178-56-4276
日米合同 鮭の稚魚放流会	3月下旬	中止	町観光協会事務局 (商工観光課内) ☎0178-56-4703

2021
2

— 目次 —

- 02** — 新型コロナウイルス関連情報
- 04** — 特集 町のごみを減らそう!
- 06** — 特集 東日本大震災から10年
～「いつか来る自然災害」に備える～
- 08** — 子育て世代包括支援センター
からのお知らせ
出産後の育児サポート
- 10** — 町会計年度任用職員を募集します
- 12** — 確定申告および町・県民税
申告の受付日程
- 14** — おいらせ病院に眼科を開設します
- 15** — 「おいらせ」JBC
全国大会出場決定!!
- 16** — 表彰
- 18** — まちのわだい
- 22** — 情報インフォメーション
- 27** — 町公式LINEをはじめました

裏表紙 — Person OIRASE
「赤石英二さん」

【今月の表紙】改修等工事を終えた
「日本一の自由の女神像」の様子。
昨年12月28日で建立30年を迎え
ました。美しくなった姿を、ぜひご覧
ください。(関連19ページ)



再確認！一人ひとりができる感染予防！

新型コロナウイルスの感染経路の中心は、飛沫感染と接触感染です。自分だけではなく、家族や大切な人に感染させないように、感染予防の徹底をお願いします！

飛沫感染

感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つば など)と一緒にウイルスが放出され、他者が口や鼻から吸い込んで感染します。無症状の方から感染する可能性も指摘されており、油断は禁物です。



感染を注意すべき場面

屋内などで、お互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすとき

接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後に、自らの手で周りの物に触れると感染者のウイルスが付着します。未感染者がその部分に接触すると、感染者に直接触れなくても感染します。



感染場所の例

電車やバスのつり革、ドアノブ、エスカレーターの手すり、スイッチなど

感染予防のポイント

3密(密集・密閉・密接)を回避する

(密集)



(密閉)



(密接)



▲外出時はマスクを着用する

▼石けんによる手洗い
や手指消毒用アルコールによる消毒



家の中でも
咳エチケット
を心がける



マスクを適用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

▶家やオフィスの
換気を十分に



▶十分な睡眠
などで自己の
健康管理を
しっかり
する



特集 町のゴミを減らそう！

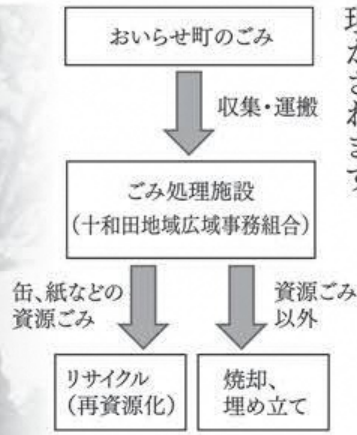
町のごみ処理のしくみ

ごみの排出量



ごみが増えてくっくっ…

町から出されたごみは、和田市にあるごみ処理施設（十和田地域広域事務組合）に運ばれ、リサイクル（再資源化）、焼却、埋め立てなどの処理がされます。



青森県は、県民1人1日あたりのごみ排出量が全国でも多い県です。このため、令和2年度までのごみ減量目標を、次のとおり掲げています。

県民1人1日あたりのごみ排出量 980g以下

リサイクル率 25%以上

おいらせ町は、町民1人1日あたりのごみ排出量が県内でも少なく、リサイクル率も高いです。しかし、ごみの排出量が年々増加してきています。

表1 排出量などの実績

	おいらせ町		青森県	全国
	ごみ排出量	町民1人1日あたりのごみ排出量	県民1人1日あたりのごみ排出量	国民1人1日あたりのごみ排出量
平成29年度	7,940トン	896グラム(県内15位※1)	1,002グラム(全国43位※2)	920グラム
平成30年度	8,078トン	915グラム(県内15位※1)	1,002グラム(全国43位※2)	918グラム
令和元年度	8,192トン	926グラム		

※1 県内40市町村中、ごみ排出量の少ない順
※2 全国47都道府県中、ごみ排出量の少ない順

表2 リサイクル率

	おいらせ町	青森県平均	全国平均
平成29年度	22.1%(県内10位)	15%(全国41位)	20.2%
平成30年度	22%(県内9位)	14.5%(全国42位)	19.9%

※リサイクル率…1年間のごみ排出量に対し、リサイクルしたごみの量の割合



ごみ排出量が増えると、焼却のときに出る二酸化炭素や窒素酸化物などが増え、空気を汚してしまいます。また、リサイクルできなかったごみは、埋め立てられています。その埋め立てできる場所や量にも限りがあります。

ごみ処理にかかる経費は、町が負担金として、ごみ処理施設（十和田地域広域事務組合）に支払っています。負担金の金額は、町全体のごみの量（重さ）で決定されるため、町民一人ひとりのごみの排出量が増える、町のお金が増え、町民一人ひとりの負担が増えていきます。

表3 負担金の推移

	町全体のごみ排出量	負担金	町民1人あたりの負担
平成29年度	7,940トン	1億3,965万円	5,552円
平成30年度	8,078トン	1億4,628万円	5,826円
令和元年度	8,192トン	1億6,633万円	6,614円

※令和元年度の県内、全国のデータはまだ公開されていません。
(参考)青森県ホームページ 一般廃棄物の排出及び処理状況等について

今からできる、ごみ減量！

①生ごみの水分を
切りましょう！

家庭から出される燃えるごみのうち、4割が生ごみです。さらに生ごみの8割が水分です。生ごみを出す前は、水切りや天日干しをして、ごみを減量しましょう。



●生ごみ処理機設置補助金

町では、家庭からの生ごみ排出を抑制するため、生ごみ処理機(電動機・処理容器)を購入した方へ補助金を交付しています。申請方法など詳しくは、町民課にお問い合わせください。

②食品ロスを
なくしましょう！

食品ロスは、まだ食べられる(食べられた)のに、捨てられてしまった「食べもの」のことです。

③積極的にリサイクルを
しましょう！

ペットボトルや缶を、燃えるごみや燃えないごみに捨てるリサイクルされません。きれいに洗って「資源ごみ」に捨てましょう。



(参考)農林水産省ホームページ

日本の食品ロス量は、なんと年間612万トン！国民1人あたりの食品ロス量は年間で48kg。これは、国民1人あたりお茶碗1杯分のご飯を毎日捨てているのと同じ量になります。もったいない「食品ロス」を減らしましょう！

- 食べ残さない！
- 食べきれぬ量だけ、料理をする、注文する！
- 買い物は、在庫の確認をして、必要な分だけ買う！

●資源集団回収

町では、リサイクルを推奨するため、町内会や子ども会などが資源ごみを集団回収(廃品回収)した場合、奨励金を交付しています。奨励金額が10円となつているため、資源ごみをごみ処理施設に搬入するよりも、町の財政負担が軽減されます。この取り組みをさらに支援するため、町内会が設置する「資源ごみ箱」の設置にも補助金を交付しています。



●小型家電の巡回回収、回収BOXの設置

町では、小型家電をリサイクル回収しています。使用済みの小型家電には、リサイクル可能な金属部分が含まれており、「燃えないごみ」で処理された場合、その多くが埋め立てられることとなります。循環型社会の実現のためにも、リサイクル回収にご協力ください。

④マイバックを
使いましょう！

海洋プラスチックごみ、地球温暖化などの問題を解消するため、去年の7月1日から買物袋の有料化がはじまりました。買い物袋のときは、マイバックや買物袋を持参し、環境に配慮しながら、ごみを減らしましょう。



地球や町の
未来のために、
ご協力ください！

▶各公民館などに回収BOXを設置しています。

2月の巡回回収日は25ページに掲載しています。



問 町民課 ☎0178-56-4218

特集 東日本大震災から10年 「いつかくる自然災害」に備える



平成23年3月11日(金)
14時46分、東日本大震災
が発生しました

この震災は、おいらせ町にも深刻な被害をもたらしました。発生の後、町民みなで力を合わせて、町を復興しました。そして、大震災が起こる前に「災害に強いおいらせ町」をつくってきました。

令和3年3月11日で、震災発生から10年を迎えます。現在、日本のいろいろな場所で、土砂崩れや大雨など、今まで経験したことのない自然災害に、毎年見舞われています。

東日本大震災から10年経った今、改めて大震災のときを振り返り、いつかくる自然災害に備えましょう。

東日本大震災と おいらせ町

1. 地震・津波

町内の最大震度 震度5強

津波の高さ 深沢地区8.8m

※八戸工業大学佐々木教授(当時)の調査結果

2. 避難

避難所開設期間 21日間

(平成23年3月11日～4月2日)

避難所開設数 10カ所

避難者数 のべ2,442人

3. 被害

人の被害

重傷者1人、軽傷者2人

建物などの被害

309棟(半壊以上176棟)

ライフライン

① 停電 3月13日4時40分

まで(約3日間)

② 電話不通

3月13日午前～3月14日早朝

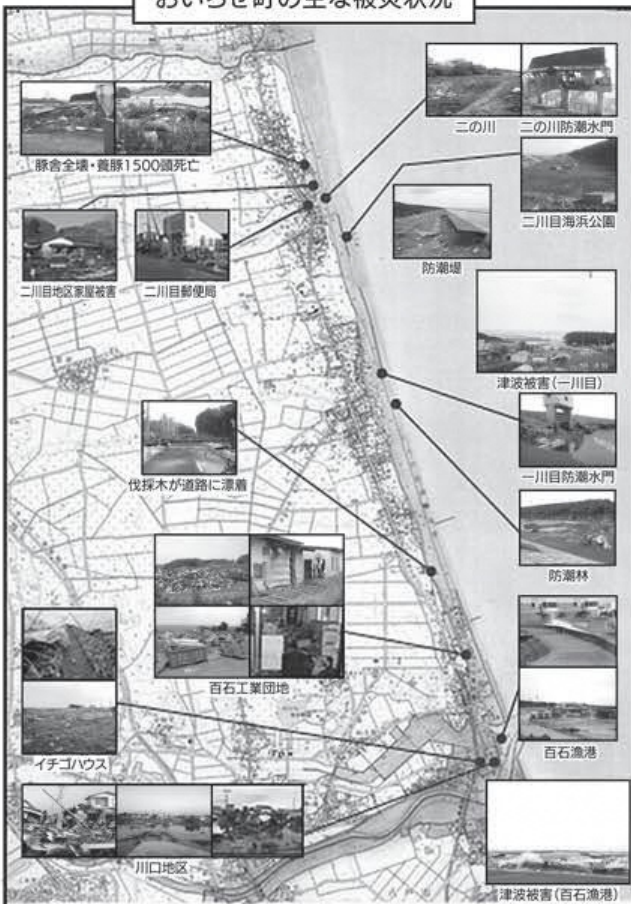
③ 燃料不足 3月25日まで

(約15日間)

農林水産業施設被害

① 漁船 流失19艘・破損16艘

おいらせ町の主な被災状況





- ② 養豚施設 全損9棟
 - ③ 養豚 1,500頭へい死
 - 商工業施設被害
 - ① 床上床下浸水 12社
 - ② 建物被害 30社
 - ③ 従業員等車両被害 327台
- 被害総額
20億7,246万円

復旧と復興

被害発生からすぐに、がれきや土砂を片付け、壊れた道路などの修復に取り掛かりました。しかし、3月中は、車の燃料が手に入りにくく、思うように進まないこともありました。また、暮らしに困っている人たちを支援する制度もつくりました。

そして、壊された町と暮らしを元に戻すだけではなく、「災害に強い町にしよう」という計画を策定し、取り組みを進めてきました。

災害に強い町にするために整備した建物など

- ① 明神山防災タワー（津波から逃げる施設）
- ② 津波避難路整備（防災タワーまでの避難経路を整備）
- ③ 松原地区避難階段（海岸から早く高いところに逃げられるように、階段を設置）

- ④ 津波監視カメラ（安全な場所から、海の様子が見られるように設置）
- ⑤ 津波避難誘導標識（津波から逃げる場所を案内する看板を道路に設置）
- ⑥ 災害公営住宅（震災で被害を受けた家族のための借家）
- ⑦ 百石道路避難階段（津波などから逃げる階段を設置）

災害に強い町にするためのしくみ

防災基本条例

災害に強く安全・安心に暮らせる町を目指すため、町のみんなの役割などを決めたルール。東日本大震災発生後に作りしました。

自主防災組織

町に暮らす人たちが、自分たちで組織し、防災活動をするグループ。震災前からあったグループですが、役場では、以前より力を入れて、グループづくりを支援しています。

思い出して

みませんか

今、新聞などのメディアで、東日本大震災を振り返る記事などが掲載されています。

10年経った今こそ、震災から復興、そして今までを振り返り、身近な人たちと話し合ってみてはいかがでしょうか。「いつかくる自然災害」に備えるヒントがあるかもしれません。

この特集は、2カ月にわたり、お送りします。次回は「洪水の最大想定のお話」です。



問 まちづくり防災課
☎0178-56-2131

子育て世代包括支援センターからのお知らせ

出産後の育児サポート

子育て世代包括支援センター(保健こども課内)は、産まれてきた赤ちゃんとそのご家族が安心して育児に臨めるようサポートをしています。

出生届出時の面談

出生届出でお越しの際に、保健師、看護師、助産師による面談を実施しています。赤ちゃんやお母さんの様子、里帰りの有無などを確認し、乳児健診受診券や予防接種予診票を交付します。



赤ちゃん訪問

赤ちゃんの発育・発達の確認、授乳やお世話の仕方のアドバイスをを行うため、全家庭を対象に訪問しています。スタッフ一同、産後のママの気持ちに寄り添った支援を心がけておりますので、お気軽にご相談ください。



乳児健診

1歳のお誕生日までに使える無料の健診受診券を2枚交付しています。この券は、町で行う集団健診(4ヵ月児健診、10~11ヵ月児歯科健診)のほかに、町内外の医療機関で使えます。
※町内外の医療機関で健診を受けるときは、各家庭で予約してください。



予防接種の相談

生後2ヵ月ごろから予防接種が始まります。「予防接種の受け方が分からない」、「受け忘れがないか心配」などの相談も受け付けています。



不安なことや心配なことなど、いつでもお気軽にご相談ください。

問 保健こども課 子育て世代包括支援センター ☎0178-56-4701

児童館・放課後児童クラブの利用登録申請受付(令和3年度分)

令和3年度に児童館・放課後児童クラブを利用したい方は、申請が必要です。

- 受付期間：2月1日(金)~20日(金) 9時15分~18時(日曜・祝日などの休館日を除く)
※あゆみ児童クラブは、2月5日(金)~15日(金)の受付になります。
- 申請方法：児童館・放課後児童クラブで配布する「利用登録(放課後児童クラブ入会)申請書」を記入し、受付期間内に各児童館、クラブへ提出してください。
- 利用要件など：利用登録は、保護者などが日中、就労その他の理由により家庭にいないことの証明(就労証明書など)が必要です。また、母親に限らず児童館利用児童の保護者などは、原則「母親クラブ」に加入していただきます。
- 各児童館・クラブ名の連絡先

児童館・クラブ名	連絡先	利用対象学校区	開設時間
木ノ下児童センターみらい館	0176-51-7080	木ノ下小学校区(全域)	●平日：放課後~18時 ●学校休業日：8時~18時 ※18時までの利用は無料 ※18時30分までの時間延長あり (30分につき200円)
木内々児童センターひまわり館	0178-56-2743	木内々小学校区(全域)	
あゆみ児童クラブ	0178-52-2206	百石小学校区(全域)	
太陽児童クラブ	0178-32-0239	下田小学校区(全域)	

※木ノ下児童センターみらい館と木内々児童センターひまわり館は、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社(指定管理者)が運営していますが、利用方法はこれまでと同様です。

問 保健こども課 ☎0178-56-4259



子育て支援センター情報



町では、地域子育て支援拠点事業を3ヵ所の保育施設に委託して実施しています。各センターの2月のおススメ行事は次のとおりです。各行事は、子育て家庭ならどなたでも参加できます。参加を希望される方は、各センターにお問い合わせください。

三田地域子育て支援センター

☎0178-56-2008

行事名:すこやかDAY
日 時:2月10日(水)、24日(水)
10時~11時
場 所:三田保育園
お子さんの写真や手形、身長・体重を載せ、成長記録作りをします。



あゆみ地域子育て支援センター

☎0178-52-2206

行事名:はんど&はあと
日 時:2月22日(月)
9時50分~11時
場 所:あじゅまるビル
手芸サークルの活動の様子です。今回はクラフトバンドでカトラリーケースを作ります。



菜の花地域子育て支援センター

☎0176-53-8670

行事名:すくすくルーム
日 時:2月24日(水)
10時~11時30分
場 所:菜の花こども園
すくすくルームは乳児を対象とした親子のふれあいの場です。



その他の各センターの行事予定は町ホームページからご確認ください。

●お楽しみ広場●

えほん、ふれあい遊びなどが楽しめます。予約不要、子育て家庭ならどなたでも参加できます。(3つのセンターが合同で実施。)日時、場所は各センターにお問い合わせください。



※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、日程などが変更となる場合があります。

☎保健こども課 ☎0178-56-4259



「食事バランスガイド」 について~第4回~

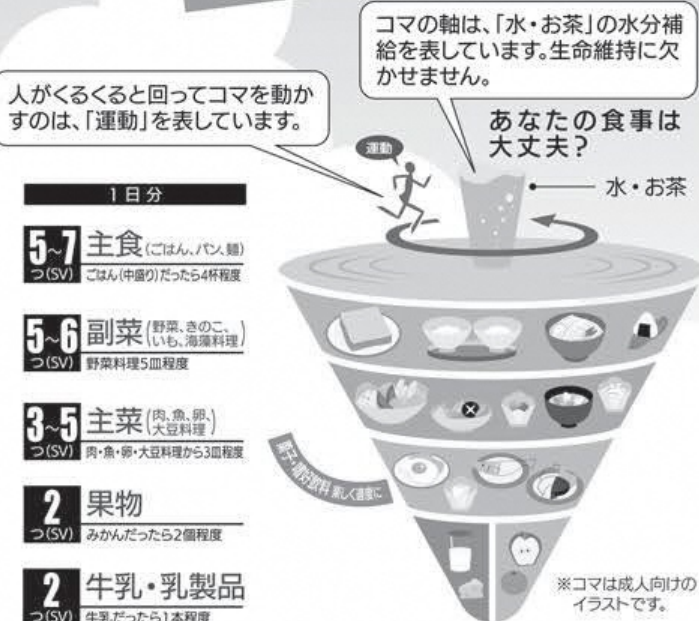
~これまでのまとめ~
食事バランスガイドを活かした「食事と健康」

新型コロナウイルス感染症の影響で、外での会食が制限され、家庭内で食べるが増えました。人によっては、不安やストレスから、いつもよりも食事の量や内容が変化してしまうこともあるかもしれません。食事バランスガイドは、そんな時にこそ活用してほしいツールです。

注意

食事バランスガイドのイラストは、おおよその食事量の目安を示しており、年代、性別、運動量などの「個人差」を考慮しないと、過剰や不足になる場合があります。また、疾患をお持ちの方や医師の指示で食事コントロールされている方は、注意が必要です。

☎保健こども課 ☎0178-56-4701



詳しくは、農林水産省ホームページ(https://www.maff.go.jp/j/balance_guide/)をご覧ください。

町会計年度任用職員を募集します

●任用期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

●選考方法

書類審査と面接試験で選考。面接試験(3月上旬)の詳細は、後日申込者へ通知します。

●募集する主な職種

職 種	勤務形態	人 数	給料・報酬(月額)
一般事務	フルタイム	1人程度	146,100円～150,600円
	パートタイム	3人程度	113,109円～116,593円
一般事務(障がい者)	パートタイム	2人程度	
看護師	フルタイム	1人程度	192,400円
保健師	フルタイム	1人程度	212,600円
介護福祉士(病院勤務)	フルタイム	1人程度	163,100円～182,200円
看護師(病院勤務)	パートタイム	1人程度	148,954円～166,606円
	パートタイム(3時間勤務)	1人程度	74,477円～83,303円

※フルタイムは7時間45分勤務、パートタイムは6時間勤務

●登録制度(短期間または短時間勤務)

短期間または短時間勤務の職に登録された方々の中から、条件に合う方を選考する制度です。なお、必要人員等の都合により、登録いただいても任用されない場合がありますので、ご了承ください。

登録の有効期限：令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

●提出書類

- ①「令和3年度おいらせ町会計年度任用職員応募申込書(履歴書)」
(総務課、町民課分室、北部出張所に備え付けのほか、町ホームページからもダウンロードできます。)
- ②資格証明書の写し(専門の資格が必要な職種の場合)

●提出先 総務課 人事係(役場本庁舎2階/おいらせ町中下田135-2)

●応募期限 令和3年2月12日㊦

詳しくは、「令和3年度会計年度任用職員募集要項」に記載していますので、応募の際はご確認ください。
(総務課、町民課分室、北部出張所に備え付けのほか、町ホームページからもダウンロードできます。)

問 総務課 ☎0178-56-2166

町会計年度任用職員(教育委員会関係)を募集します

特別支援教育支援員

募集人数	2人程度	
応募資格	高校以上の学校を卒業した人(保育士、幼稚園教諭・学校教諭の資格・免許を有する人が望ましい)	
勤務場所	町内小中学校	
任用期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで(更新の可能性有)	
勤務条件	従事内容	支援を必要とする児童・生徒の学習支援や学校生活の介助など
	勤務時間等	・1日7時間以内、週29時間以内、年間1,050時間以内 ・土日、祝日、学校の長期休業期間は休み。ただし、学校の行事などで勤務する場合あり。
	社会保険等	社会保険無、雇用保険有、労災適用
	休暇	年次有給休暇、特別休暇(有給、無給)
	報酬	時給897~925円(通勤手当有、賞与有)

申込方法

- 提出書類：①会計年度任用職員(教育委員会関係)申込書 1部
 ※総務課、学務課、北部出張所に備え付けのほか、町ホームページでダウンロードできます。
 ②有資格者は、資格証明書または免許状の写し 1部
- 提出先：教育委員会学務課(役場分庁舎2階)
- 提出方法：郵送または持参(いずれも提出期日必着)
- 提出期日：令和3年2月12日(金)17時まで
- 選考方法：書類選考、面接(選考に関する詳細は後日通知)

問 教育委員会学務課
 ☎0178-56-4258

地域おこし協力隊(観光物産振興)を募集します!

おいらせ町の魅力あふれる地域資源や良質な地場産品を、地域外の方の新鮮な感性で掘り起こし、観光物産による地域おこしに意欲的に挑戦して下さる「地域おこし協力隊」を募集します。

- 募集人員 若干名
- 任期 令和3年4月1日から1年間(最長3年間まで延長)
- 身分 町職員(パートタイム会計年度任用職員)
- 報酬など 月額166,000円、期末手当、通勤手当、社保、住居あり、活動に支障のない範囲で副業可。
- 募集条件など 年齢20歳以上概ね45歳以下、性別不問、東京都などの三大都市圏などに直近3年以内に2年以上居住しており、着任までに生活拠点および住民票をおいらせ町に異動できる方。
 ※詳しくは、町ホームページの募集要項をご覧ください。左のQRコードよりご覧になれます。



問・申込先 商工観光課 ☎0178-56-4703

確定申告および町・県民税申告の受付日程

新型コロナウイルス感染症対策のため、申告会場を役場本庁舎と分庁舎の2カ所で行います。両会場とも「密」を避けるための地区割、地区に合わせた必要最小限の職員を配置しますので、お住まいの地区の指定日・指定会場にご来場ください。指定日にご来場できない場合は、郵送やe-Taxなどでの申告にご協力ください。指定日以外にご来場した場合、午後の空いている時間帯にご案内、もしくは混雑状況によりお断りする場合があります。ご理解とご協力をお願いします。

① 申告会場・受付時間

- 申告会場：役場本庁舎201会議室(2階)、役場分庁舎401会議室(4階)
 - 受付時間：8時15分～11時30分、13時～15時30分(役場玄関は8時に開場します。)
 - 申告相談時間：8時30分～12時、13時～15時30分
- ※混雑状況により、午前にも受付されても午後の申告相談となる場合があります。

② 申告受付の日程

	本庁舎 受付地域	分庁舎 受付地域
2月15日(月)	木内々	藤ヶ森(苗平谷地、下屋敷)
2月16日(火)	間木、染屋	藤ヶ森(牛込平、後田、新助川原、東前川原、下明堂)
2月17日(水)	木崎、秋堂、中野平	日ヶ久保
2月18日(木)	木ノ下(上久保)	1～6丁目
2月19日(金)	木ノ下(浜道、北下田、木ノ下西・東・南、鶉久保山)	上新町、新町
2月22日(月)	緑ヶ丘	苗振谷地、根岸、下前田
2月24日(水)	青葉(1～5丁目)	一川目(1～2丁目)
2月25日(木)	青葉(6～10丁目)	一川目(3～4丁目、深沢)
2月26日(金)	若葉	洋光台(1～3丁目)
3月1日(月)	向山、豊原、豊栄	洋光台(4～6丁目)
3月2日(火)	三本木、三田	堀切川
3月3日(水)	洗平、新敷、錦ヶ丘	川口、明神下、横道
3月4日(木)	苔米地、曙、住吉	二川目(1～2丁目、向平)
3月5日(金)	鶉久保	二川目(3～4丁目)
3月7日(日)	本庁舎受付の全地区(混雑が予想されます)	分庁舎受付の全地区(混雑が予想されます)
3月8日(月)	本村、鍋久保	八幡町、中央町、肴町、大工町、七軒町
3月9日(火)	阿光坊、有楽町	向坂、黒坂、深沢
3月10日(水)	本庁舎受付の北部地区※1(混雑が予想されます)	分庁舎受付の南部地区※3(混雑が予想されます)
3月11日(木)	本庁舎受付の南部地区※2(混雑が予想されます)	分庁舎受付の北部地区※4(混雑が予想されます)
3月12日(金)	本庁舎受付の南部地区※2(混雑が予想されます)	分庁舎受付の北部地区※4(混雑が予想されます)
3月15日(月)	本庁舎受付の北部地区※1(混雑が予想されます)	分庁舎受付の南部地区※3(混雑が予想されます)

地区名の()書きは、字名となります。

3月10日～15日の受付地域

- ※1 木ノ下、鶉久保、向山、豊原、豊栄、苔米地、住吉町、若葉、緑ヶ丘、青葉
 - ※2 本村、鍋久保、三本木、三田、洗平、新敷、阿光坊、木内々、間木、染屋、木崎、秋堂、中野平、曙、錦ヶ丘、有楽町
 - ※3 1～6丁目、八幡町、中央町、上新町、肴町、大工町、新町、七軒町、下前田、藤ヶ森、堀切川、川口、明神下、横道、日ヶ久保、洋光台、根岸、黒坂、苗振谷地、向坂
 - ※4 深沢、一川目、二川目
- ※申告について、詳しくは広報おいらせ1月号(2021年)でご確認ください。

☎ 税務課 ☎ 0178-56-4704

消防署だより

「冬期間における注意事項!!」

- ①除雪作業中の転倒事故や機械事故に注意してください。
- ②屋根などからの落雪に注意してください。
- ③ストーブなどの火気取り扱いには、十分注意してください。
- ④外出時や就寝時には、火の元の確認をしてください。
- ⑤新型コロナウイルス感染予防のため、外出先でのマスク着用とアルコール消毒実施を徹底してください。



消防署からのお願い

- ①除雪の際は、消火栓などの消防水利の近くに雪を捨てないでください。
- ②交通障害の危険性があるため、道路に雪を捨てないでください。
- ③消防活動の妨げとなるため、消火栓などの消防水利の近くに駐車しないでください。
- ④緊急走行中の消防車や救急車に道をゆずる際は、道路の路面状況に注意してください。

☎ おいらせ消防署 ☎0178-56-2525 ☎ おいらせ消防署北分遣所 ☎0176-51-2170

除雪作業にご協力ください

道路への雪出しはやめましょう!

道路への雪出しは、交通事故や渋滞の原因となり、危険ですので、やめましょう。



間口除雪にご協力ください

除雪作業では、どうしても自宅前や車庫前に雪が残ってしまいます。間口の除雪にご協力をお願いします。



除雪作業が遅れる場合があります

除雪作業は、朝の通勤・通学時間に間に合うよう、主に深夜・早朝に行います。しかし、積雪状況などにより、朝の通勤・通学時間までに作業を終えられない場合もあります。ご了承ください。

☆除雪に関するご意見等

除雪に関する電話でのご意見等は、①要望箇所、②要望内容、③連絡先の3点をできるだけ簡潔にご連絡ください。特に大雪時には、皆さんからの要望が多数寄せられるため、電話に出られない場合があります。



☎ 地域整備課 ☎0178-56-4702・4819

～1日1円が誰かのお見舞いになる～

令和3年度 青森県交通災害共済 加入受付中

日本全国どこでも交通事故が起きた際、弔慰金や見舞金をお支払いする共済制度です。

会 費：年間1人350円

※団体加入(10人以上)は、会員1人につき50円が団体奨励金として団体に支給されます。

共 済 期 間：令和3年4月1日より1年間

加 入 資 格：当町に住民登録をされている方

申 込 期 間：2月1日⑧から加入を受け付けします。

- 共済見舞金：
- ・1等級 死亡した場合……………100万円
 - ・2等級 後遺障害になった場合……………50万円
 - ・3等級 30日以上の治療を要する場合……………7万円
 - ・4等級 30日未満の治療を要する場合……………3万円

申 込 先：まちづくり防災課(役場本庁舎2階)、町民課分室(役場分庁舎1階)



☎ まちづくり防災課 ☎0178-56-2131

おいらせ病院に 眼科を開設します

診療日：毎月第1、第3火曜日
 受付時間：13時30分～15時30分
 診察時間：14時～16時
 ※眼科の診察は、八戸市立市民病院の医師が対応します。

おいらせ病院では、
 2月2日☉から眼科を開設します。
 受診の際は、保険証とお薬手帳を
 忘れずに持参してください。

おいらせ病院の新型コロナウイルス感染症対策

患者さんが安心して利用できるよう、さまざまな感染症対策をしています。その一つが案内ロボット「ゆうと君」。普段は入口で案内をしていますが、発熱など体調不良の方などがお越しの時は、ゆうと君を介して(リモート)、看護師と通話することができます。また待ち時間、子どもたちが飽きないようにダンスやゲームなどもできます。



▼ゆうと君

問 おいらせ病院 ☎0178-52-3111

Oirase New-Book's information 新着図書案内

図書館おすすめの本を紹介します。

問 町立図書館(みなくる館内) ☎0178-52-3900

一般書 ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人

東野 圭吾 著

ほとんどの人が訪れたことのない平凡で小さな町。寂れた観光地。ようやく射した希望の光をコロナが奪い、さらに殺人事件が発生。颯爽とあらわれた黒い魔術師が知恵と仕掛けを駆使して、犯人と警察に挑む。

一般書 化け者心中

蟬谷 めぐ実 著

時は文政、所は江戸。烏屋を営む藤九郎と稀代の女形として人気を誇った元役者・魚之助。ふたりの鬼暴きの道行きは、傾奇者たちが命と鎬を削る、苛烈な芸の世界の地獄めぐりで…。

一般書 こころのソーシャルディスタンスの守り方

大嶋 信頼 著

いったい誰をどこまで信じていいのか？ SNSでのつながりが増えてリアルな人との交流が減った今、こころのパーソナルスペース＝「こころのソーシャルディスタンス」を守り、安心して過ごす方法を具体例とともに紹介する。

- お探し物は 図書室まで 青山美智子
- やわらかい砂のうえ 寺地はるな
- その果てを知らず 眉村卓
- 空洞のなかみ 松重豊
- 落葉の記 勝目梓
- 銀の夜 角田光代
- 古文書が語る 東北の江戸時代 荒武賢朗
- いい白髪ケア、やばい白髪ケア 伊藤奈美
- たのしい 路上園芸観察 村田あやこ
- 青森のお酒 下池康 ほか



新着・一般書

2月の休館日 ■は休館日

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

おけなし会のおしらせ
 図書館(あそほつと)

おけなし会
 2月27日☉
 14時から

児童向け

★児童★
 【あまくて おいしいおやつ】
 みんながだいすきな、お菓子や料理をついでみよう。

★一般★
 【ハッピーになる 贈りもの】
 感謝や気持ちを伝える言葉プレゼントを選びよう。



「おいらせJBC」 全国大会出場決定!!



町内の4つのスポーツ少年団野球チーム（木ノ下ファイターズ、木内々野球部、百石ボンバーズ、甲洋ドリームス）の合同チーム「おいらせJunior Baseball Club」。11月22日㊿、福島県相馬市で開催された第4回CBS少年軟式野球「学童新人大会」東北ブロック大会で1位となり、全国大会出場を決めました。おめでとうございます。

12月14日、選手たちは役場を訪れ、大会の結果と試合の感想を報告しました。成田町長は「おめでとうございます。みんなよく頑張りました。支えてくれたお父さん、お母さん、監督の皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに、全国大会も頑張ってきてください。」とエールを送りました。



全国大会への抱負

(写真中央) 投手・遊撃手

松林 世晴くん
(木ノ下小学校5年)

エラーとフォアボールをなくして、しっかりと闘いたいです。

(写真左) 主将・捕手

田中 俊汰くん
(甲洋小学校5年)

相手チームに点数をとられないように守り、積極的に攻撃していきたいです。



(写真右) 監督

種市 廣行さん

選手たちの望むような結果が出せるよう頑張ります。

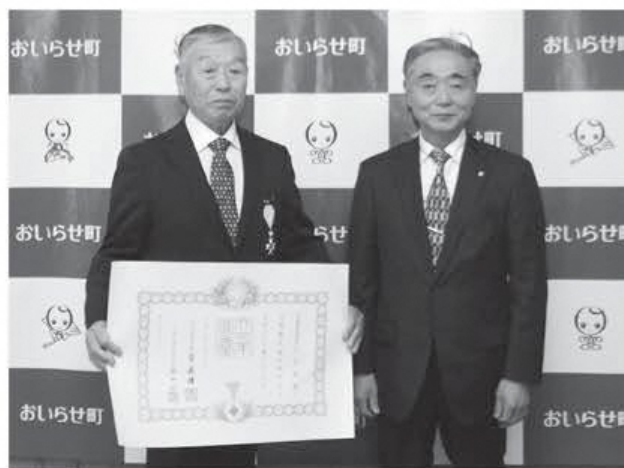


全国大会は、4月に愛知県で開催予定。健闘を祈ります!

秋の叙勲(消防功勞・地方自治功勞)を受章

令和2年秋の叙勲において、立花 國雄さん(一川目)が瑞宝双光章を受章しました。おめでとうございます。

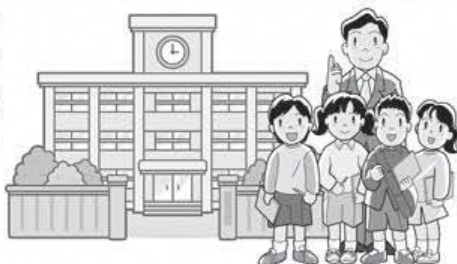
立花さんは、昭和52年に町消防団に入団。平成20～25年には、町消防団長を務めるなど、37年間、地域住民の生命と財産を守るため、消防活動に尽力しました。



教育分野の叙勲を受章

教育分野の叙勲(高齢者叙勲)において、小又 定見さん(下前田)が瑞宝双光章を受章しました。おめでとうございます。

小又さんは、平成2年に下田小学校の校長に着任。その後、旧百石町教育委員会の委員長、教育長を務めるなど、県や町の教育振興に寄与されました。



町社会教育委員の表彰

町の社会教育向上のため、多年にわたり活動している「おいらせ町社会教育委員」の2人が表彰されました。おめでとうございます。

(写真左) 田澤 久仁於さん【根岸】
受賞：令和2年度東北地区社会教育委員連絡協議会表彰

町社会教育員歴17年。豊富な知識と実践力で、平成26年から副委員長に任命されています。ほかに「青森県青少年健全育成推進員」として「声かけリーダー」など、青少年健全育成活動に積極的に協力し、町の社会教育の発展や人材育成に貢献しています。



(写真右) 高橋 宏典さん【曙】
受賞：令和2年度青森県社会教育委員連絡協議会表彰

町社会教育委員歴8年。子ども会活動などで得た知識や経験を活かし、町の社会教育振興のために尽力しています。「傾聴ボランティアあゆみの会」の会長なども務めており、児童の健全育成や町民のいきがづくりにつながる活動を展開しています。

町公民館運営審議会委員の表彰

町の公民館の運営体制づくり・活動・審議などを行っている「公民館運営審議会」。委員長の橋本 義隆さん（間木）と委員の苫米地 友子さん（木崎）が、10年以上公民館の体制づくりに貢献してきた功績により、12月16日に青森県から表彰状が贈られました。おめでとうございます。



（左から）表彰された苫米地さんと橋本さん▶



豆乳レシピ甲子園で最優秀賞!!

全国の高校からたくさんの応募があった第7回豆乳レシピ甲子園（日本豆乳協会主催）。その郷土料理部門で、百石高校食物調理科 3年生の橋 珠里さんが考案した「黒にんにくひつつみの豆乳汁」が最優秀賞（全国1位）を受賞しました。

●橋 珠里さん 受賞のコメント

『町特産品の黒にんにくと豆乳の組み合わせは初挑戦でしたが、入賞できて良かったです。ぜひ、たくさんの人に食べてもらいたいです。』



◀受賞した橋 珠里さん



▲「黒にんにくひつつみの豆乳汁」。黒にんにくのペーストを練りこんだひつつみ（すいとん）が特徴です。

第7回豆乳レシピ甲子園の詳細は、日本豆乳協会のホームページ（<https://tounyu.jp>）でご覧になれます。

『広報おいらせ』に 広告を掲載しませんか？

【広告サイズ・料金】

1号広告	縦6cm×横17.5cm	12,000円(1回)
2号広告	縦6cm×横8.5cm	6,000円(1回)

【広告掲載できる事業者】

町内に事業所、営業所または取扱店がある業者詳しくは、お問い合わせください。

問・申込先 総務課 ☎0178-56-2166

有料広告

相続・契約・官庁提出書類・外国人入管法申請取次
administrative scrivener(行政書士) 행정서사



にしだて法務事務所

上北郡おいらせ町上明堂48番地23

ユニバース西方
徒歩1分

TEL 090-3649-3928
FAX 0178-52-8240

青森りんごを学ぼう！

「青森りんご出前授業」

11月

26日

青森県農林水産部りんご果樹課は、木内々小学校で「青森りんご出前授業」を開催しました。「青森りんごで健康応援隊(青森りんご食育講師)」から、青森りんごの品種、栄養、栽培方法などを学んだ5年生の児童たちは、県内で栽培されているりんご14種類が並べられると、「初めて見た!」や「(品種が)こんなにたくさんあるんだ。」などと感想を話していました。



◀並べられた県内りんごに触れる児童たち



◀青森りんごで健康応援隊は「この授業をきっかけに、青森のりんごをたくさん食べて欲しいです。」と話していました。

地域の防災力向上へ向けて

「地域防災パートナーシップ協定」締結式

11月

30日

おいらせ町を含む八戸圏域連携中枢都市圏7町村と青森放送(山本恒太社長)が、田子町役場で「地域パートナーシップ協定」を締結しました。

この協定を結んだことで青森放送は、災害時に被害や避難状況、児童や生徒の保護状況を発信したり、日頃から過去の災害映像を提供したりするなど、地域の災害対応能力の向上を図っていきます。

青森放送は、八戸市と既に協定を結んでおり、将来的に青森県内全市町村と締結する方針です。

協定を結んだ圏域内の7町村長と山本社長(前列右から2人目)▶



キクイモを使った新商品！

キクイモの新商品発表

12月

11日

ふるさとの味研究会(橋本サト会長)と観光農園アグリ(里おいらせ(苦米地義之代表取締役))は、町でとれたキクイモを使った新商品を開発しました。開発された商品は、ドレッシングやピクルスなど9種類。商品パッケージは、青森公立大学の学生と町地域おこし協力隊の澤口さんが協力して作成しました。試食した関係者からは「食べやすい。」「さっぱりしていておいしい。」などの感想が聞かれました。



◀商品開発に携わった関係者の皆さん。キクイモは、血糖値上昇を抑える効果があるとされています。



◀開発された商品は、味祭館とアグリ(里おいらせ)で販売されます。

百石第4分団の屯所が完成

おいらせ町消防団
百石第4分団屯所落成式

12月
18日

町消防団百石第4分団（川口潤分団長）の屯所が完成しました。

18日の消防屯所落成式では、成田町長、町消防団関係者、藤ヶ森町内会長などが参加し、記念撮影や屯所の内覧を行いました。川口分団長は「気持ちを新たに、これからも町民の生命と財産を守るために頑張っていきたい。」と今後の消防活動の抱負を話していました。



◀完成した
百石第4
分団の屯
所



◀(左から)百石
第4分団班長の
川口浩和さん、
川口分団長、
藤ヶ森町内会の
藤ヶ森利昭会長

冬の運転、ご注意ください

冬の交通安全運動

12月
19日

おいらせ町交通安全協会（川口弘治会長）と町交通指導隊（門上実隊長）は、おいらせ交番前の交差点で冬の交通安全運動を行いました。

道路に雪が残る中、約15人の参加者たちは、横断幕や反射板でドライバーに注意喚起をしました。

運動に参加した交通指導隊員の松林一弥さん（豊原）は「冬は、路面凍結やわだちが原因の事故が増えます。スピードを出さず、安全運転を心がけてください。」とドライバーに呼びかけました。

交通安全を呼び掛ける松林さん（交通指導隊員歴11年）▶



きれいになった自由の女神像

「日本一の自由の女神像」の
改修等工事

1月
4日



◀きれいになった自由の女神像

令和2年12月28日で建立30年を迎えた「日本一の自由の女神像」。昨年の秋から続いていた改修等工事が終了しました。

今回の工事では、女神像の洗浄、塗装、耐震補強などを行いました。いちよう公園を訪れた方からは「きれいになったね!」や「見るのを楽しみにしていました。」などの感想が寄せられています。



◀いちよう公園
にお越しの際
は、ぜひご覧
ください。

冬の味覚、ホッキ貝

ホッキ貝漁

12月
1日

百石町漁業協同組合(木村慶造組合長)が、今年度のホッキ貝漁を始めました。組合員の漁師たちは、午前6時に百石漁港を出港。沖合500～700メートルまで移動し、水深約7mにいるホッキ貝を引き揚げました。木村組合長は「生育は順調。今年も味や歯ごたえは抜群。」と取れたホッキ貝の状態を確認していました。ホッキ貝は、水産資源の保護のため、漁期が12月～翌年3月までの4カ月間となっており、地元の鮮魚店やスーパーで販売されています。



◀漁は、朝日が昇る中、行われました。



◀漁具「噴流式マンガン」で引き揚げられたホッキ貝



◀引き揚げられたホッキ貝は、船上で洗浄されます。



◀冬の味覚を、ぜひ味わってみてください。

プレミアム付き農産物&水産物を販売!

11月	12月
15日	13日

新型コロナウイルス感染症経済対策の一環として、町内の農産物・水産物の消費拡大のため、町は、JA十和田おいらせと百石町漁業協同組合と連携し、プレミアム付き農産物と水産物を抽選販売しました。感染症の拡大防止対策のため、商品の引き渡しは、間木堤白鳥飛来地駐車場で、ドライブスルー方式で行われました。

○プレミアム付き農産物詰め合わせセット販売会 (11月15日)

JA十和田おいらせの協力により、まっしぐら(米)5kgと長いも、にんじんなどの町産野菜の詰め合わせ(3,000円相当)を1,000円で販売しました。



◀商品を引き渡すJA職員の皆さん



◀700セットが販売されました。

○プレミアム付き水産物販売会 (12月13日)

百石町漁業協同組合の協力により、ホッキ貝5キロ(3,000円相当)を1,000円で、ホッキ貝2.5キロ(1,500円相当)を500円で販売しました。



◀ホッキ貝を用意した百石町漁協の組合員の皆さん



◀あわせて738セットが販売されました。

調理実習の集大成

食物調理科
「総合調理実習」
12月
18日

百石高校食物調理科の3年生が、「総合調理実習」の授業の一環として、ビュッフェを開催しました。メニューは、ローストポーク、きのこのクリームスープ、まぜそば、キャラメルコーヒームースなど12品。生徒たちは、3年間学んできた調理とサービス技術を精一杯発揮し、食物調理科の1、2年生の生徒や教職員、招待した町関係者に料理を提供しました。

試食した成田町長は「美味しかった。とても上手に作られていて素晴らしい。」と感想を話していました。



◀ 厨房の様子



◀ 成田町長に料理を説明する生徒



◀ メニューの考案、発注、会場作り、調理、サービスを行いました。



◀ 提供された料理

受け継がれるしめ縄作り

本村地区のしめ縄作り
12月
20日

本村地区で、しめ縄作りが行われました。これは、100年以上も前から地域の有志たちによって受け継がれている伝統行事。地域住民の家内安全・無病息災などを祈願するために、1年に1回、この時期にしめ縄が作られ、本村地区にある神社(神明宮)の鳥居に飾られます。

毎年参加している下川原和子さんは「しめ縄作りは、自分たちの親や親戚から、代々引き継がれてきました。地域の皆さんが、良いお年を迎えられるよう、想いを込めて作っています。」と話していました。



◀ しめ縄作りの様子。しめ縄の材料は、町内でとれる「シゲ」と呼ばれる草だそうです。



◀ しめ縄の長さ6~8メートルほどになります。



◀ 一緒に飾る「ぼんぼり」作りの様子



◀ 鳥居に飾られたしめ縄

インフォメーション

各種施策
行事集
募案内
相談

町民課分室(役場分庁舎)、北部出張所(北公民館内)でも各種証明書が発行できます!

- 住民票、町名の証明書 ●戸籍謄本、戸籍の附票
 - 印鑑証明書 ※北部出張所では、印鑑の登録・廃止・再発行の手続きはできません。
 - 所得証明書・課税所得証明書 ●評価証明書など資産に関する証明書
 - 納税証明書(車検用含む) ●粗大ごみ処理券 ●健診無料券など
- 問 町民課分室 ☎0178-56-4214 問 北部出張所 ☎0176-50-1208

《お知らせ》

- 土日・祝日は、各種証明書の発行を行っておりません。
- 住所変更、戸籍届出、保険証交付などは取り扱いできません。
- 運転免許証や保険証、マイナンバーカードなど、本人確認ができる公的書類をご持参ください。
※証明書によっては、追加書類の提出が必要となる場合もありますので、事前にお問い合わせください。

相談

心配ごと相談

日常生活でお困りのこと、心配ごとの相談をお聞きします。(相談無料)

○日時 2月3日(水) 10時～12時

○場所 いきいき館・談話室

問 町社会福祉協議会 ☎0178-52-7066

「くらし」と「仕事」 無料相談会

失業、借金、ひきこもりなどの相談をお聞きし、自立に向けた協力、アドバイスをします。(相談無料)

○日時 2月8日(月) 13時～16時

○場所 中央公民館・小会議室

問 特定非営利活動法人 ワーカーズコープ 三戸地域自立相談窓口 ☎0178-51-8755

法律相談会

弁護士による法律相談会を実施します。(事前予約・相談無料)

○日時 2月8日(月) 13時30分～16時

○場所 中央公民館・講習室

問 法テラス青森 ☎0570-078387

人権相談

いじめ・虐待・差別・プライバシーなど、人権侵犯に関する相談のほか、家族関係・相続・近隣関係、金銭・借金問題などの相談をお聞きします。(相談無料)

○日時 2月12日(金) 13時～16時

○場所 北公民館

問 町民課 ☎0178-56-2246

自死遺族のつどい

身近な方を自死で亡くされた方が集い、互いの思いを語り合う場です。

○日時 2月20日(土) 13時30分～15時30分

○場所 八戸ユートリー4階研修室

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止となる場合もあります。事前にご確認ください。

問・申込先 青森県立精神保健福祉センター(こころの電話) ☎017-787-3957

行政相談

毎日の生活のなかで関わっている役所の事務・手続き・サービスなどの苦情・意見・要望をお聞きします。(相談無料)

○日時 2月24日(水) 10時～12時

○場所 中央公民館

○相談員 中村廣美さん

問 総務課

☎0178-56-2166

「解決の糸口を見つけに 行こう!」相談会

消費者信用生活協同組合による無料相談会です。専門スタッフや弁護士がお金や暮らしに関する悩みなどについて、丁寧に聴き取りし、一緒に解決の糸口を見つけてみます。

○日時 2月27日(土)

○場所 信用生協八戸事務所(八戸市大字八日町36第一ビルディング4階)

○対象の相談 ①お金の問題(多重債務問題など)、②遺産相続、③不動産売買、④税金等公共料金の滞納、⑤DV・離婚問題、⑥その他くらしに関する悩み事

○相談料 無料(事前の予約が必要です。)

問・予約先 信用生協八戸事務所 ☎0120-1102-1084

教育相談

児童・生徒とその関係者を対象に、いじめ、不登校、非行、しつけ、進路、勉強などに関する相談を受け付けます。(相談無料)

○相談日 毎週火・水・木・金曜日

○時間 9時30分～12時、13時～16時

○場所 みなくる館内「教育相談室」

問 教育相談電話 ☎0178-56-2019

借金に関する相談窓口

相談員が借金の状況などをお伺いし、必要に応じて、弁護士などに引き継ぎを行います。ひとりで悩まず、ご相談ください。秘密厳守です。

(相談無料)

○受付時間 月～金曜日の8時30分～12時、13時～16時30分(祝日・年末年始除く)

○相談専用電話

☎017-774-6488

問東北財務局青森財務事務所

理財課

☎017-722-1463

税金

納税相談

日中、お仕事などで税金の納付や相談が困難な方を対象に、夜間と休日に納税相談日を設けています。開設時間内であれば、各種税金を納めることもできます。

○夜間納税相談 17時～20時

〔役場本庁舎(税務課)〕

▼2月2日(※)・16日(※)

〔役場分庁舎(町民課分室)〕

▼2月9日(※)・24日(※)

○休日納税相談 8時30分～17時

〔役場本庁舎(税務課)〕

▼2月7日(※)

★高齢者や身体の不自由な方が、金

融機関や役場窓口で税金・保険料を納められない場合には、自宅へ訪問し徴収することもできます。
★納め忘れの防止には、口座振替がおすすめです。

問 税務課

☎0178-56-4704

県税納税証明書交付申請時の本人確認と委任関係確認

県では、納税証明書の交付申請の際、窓口にお越しの方の本人確認および代理人申請の場合の委任関係確認を行っています。

◆納税証明書の交付申請に必要なもの

必要なもの 証明書の種類	本人確認書類(※)	本人の印鑑 (法人の場合は代表者印)	青森県 収入証紙 (400円/1部)	自動車 検査証 (コピー可)
個人事業税 法人県民税・ 事業税・特別税	○	○	○	△
自動車税種別割 (滞納がない旨の証明)	○	○	○	○
自動車税種別割 (車検用)	○	○	△	○

(※) 例として、次の書類を提示していただきます。
1枚の提示で足りるもの…マイナンバーカード、運転免許証などの顔写真付公的書類
2枚の提示が必要なもの…健康保険被保険者証、年金手帳などの本人確認書類(記載された識別番号等を記録します。)

募集

放送大学入学生募集のお知らせ

令和3年4月入学生を募集しています。授業は心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報など、約300の幅広い科目があり、半年・1科目から学ぶことができます。

○出願期間 令和3年3月16日(※)まで

問 放送大学青森学習センター

☎0172-38-0500

八戸サテライトスペース

☎0178-70-1663

▼代理人が申請する場合は、上表の書類に加えて本人(法人の場合は代表者)からの委任状が必要です。
▼家族または従業員の方であっても本人の委任状が必要です。
▼委任状には、必ず本人の署名および押印(法人の場合は、代表者の署名および代表者印の押印)をしてください。
▼委任の場合、本人に電話で確認する場合があります。ご了承ください。
納税証明書は、納税者の大切な情報を証明するものです。ご理解とご協力をお願いします。

問 上北地域県民局県税課

☎0176-22-8111

国民年金情報 口座振替での納付がお得です

国民年金保険料を口座振替での早割・前納で納付すると、保険料が割引されます。

- ◇早割(当月末日振替)にすると、月50円(年間600円)お得です。
- ◇6ヵ月分、1年分、2年分の前納は、さらに割引額が多く、大変お得です。
- ◇手続きには、預(貯)金通帳またはキャッシュカード、通帳届出印が必要です。
- ◇令和3年度(4月から)の前納の申込期限は、2月末日と8月末日の2回のみとなります。



問 日本年金機構 八戸年金事務所 ☎0178-44-1742 町民課 国民年金係 ☎0178-56-2246

募集

国民健康保険運営協議会の 委員を募集

国民健康保険運営協議会は、国保事業が適正円滑に運営できるよう給付や税に関する事項の審議などを行う町の附属機関です。被保険者の代表、保険医・保険薬剤師の代表、公益の代表で構成されています。この度、委員の任期満了により被保険者代表委員を募集します。

○任期 令和3年5月1日～令和6年4月30日（3年間）

○報酬 日額5,300円（交通費は別途支給）

○応募資格
・現在および任期中、当町の国民健康保険の被保険者または見込みの方
・令和3年4月1日現在で18歳以上の方

・町税に滞納がない世帯に属する方
・国・地方公共団体の議会の議員および職員でない方

・町の審議会等の委員でない方
・年4回程度、日中の会議（1時間30分程度）へ出席できる方

○申込方法 3月31日までに応募用紙と応募の動機（800字程度）を記入したものを、町民課（役場本庁舎1階）へ提出してください。

※郵送可、3月31日必着。

○募集人数 若干名（3人以内）
※応募用紙は、町民課または町民課分室（役場分庁舎1階）の窓口で配布のほか、町ホームページから

もダウンロードできます。

※詳しくは、町ホームページまたはお問い合わせください。

問・申込先 町民課 国民健康保険係
☎0178-56-4218

八戸圏域ウルシ造林事業

漆の生産量拡大のため、令和3～4年度にウルシ苗木の植栽を行う土地所有者、林業者、林業者等の組織する団体を募集します。

○補助内容 補助対象者が購入するウルシ苗木ごとに、その購入単価の1/2以内の額を合算した額。（苗木本あたりの上限あり）

○募集要件 八戸圏域連携都市圏域内（八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町）で、自身が経営する山林において、0.1ヘクタール以上の植栽可能な土地を準備できる方。

○募集期間 随時募集中

問・申込先 農林水産課
☎0178-56-4279



お知らせ

赤十字活動に ご協力ください

2月は、青森県の赤十字会員（社員）増強・活動資金増収運動月間です。

日本赤十字社は、災害救護活動や献血など、さまざまな活動を行っており、日本国内外で災害に遭われた方を支援しています。これらの活動に係る経費のほとんどが、皆さまから寄せられる赤十字活動資金（社資）によるものです。

2月中に各地区の班長が各家庭を訪問しますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

問 介護福祉課
☎0178-56-4705

小さな掛金、大きな補償 スポーツ安全保険

スポーツ安全保険は、4人以上で行うスポーツ活動や文化活動、ボランティア活動、地域活動などを対象にした保険です。

○対象になる事故 団体活動中、移動中の事故（自動車事故による賠償責任保険は適用外）

○補償内容 傷害保険（通院、入院、後遺障害、死亡）、賠償責任保険、突然死葬祭費用保険

○受付期間 令和3年3月1日から令和4年3月30日まで

令和3年度自衛官募集のご案内

募集種目	資格	受付期間	試験期日	試験場所
一般幹部候補生 （一般・飛行） 歯科・薬剤幹部候補生	令和3年4月1日現在 22歳以上26歳 （修士課程修了者は28歳未満の方）	令和3年3月1日～ 令和3年4月28日※	〈1次試験〉 5月8日①：筆記試験 5月9日②：筆記式操縦適性検査（飛行要員のみ） ※2次試験は、後日お知らせします。	別途各人に連絡します。
一般官候補生	18歳以上33歳未満の方	令和3年3月1日～ 令和3年5月11日②	令和3年5月21日③～令和3年5月30日④ ※いずれか1日を指定されます。	
自衛官候補生		年間を通じて行っております。	別途各人に連絡します。	
予備自衛官補 （一般公募）	18歳以上34歳未満の方	令和3年1月6日～ 令和3年4月9日⑤	令和3年4月17日⑥～令和3年4月21日⑦ ※いずれか1日を指定されます。	

◎ 試験日程は変更する場合がありますので、細部は下記までお問い合わせ下さい。

〒033-0037 三沢市松園町三丁目6-16 中野プラザビル2F(ユニバース松園店隣)

自衛隊青森地方協力本部 三沢募集案内所

電話、FAX 0176-53-1346(平日：9時～17時45分) e-mail:aomori.pco.misawa@rct.gsdf.mod.go.jp

misawasyo インスタグラム



○掛金 1人年額8000円から11,000円まで（活動内容や年齢によって異なります。）
問 スポーツ安全協会青森県支部
☎017-718-11136

家畜を飼育している方は定期報告書を提出してください

家畜を飼っている全ての方は、家畜の伝染性疾病の発生予防やまん延を防止することを目的とした「家畜伝染病予防法」により、年1回、その飼育状況を報告することが法律で義務付けられています。

令和3年2月1日現在の状況を、報告様式に記入のうえ、提出してください。

○**対象家畜** 牛、水牛、鹿、馬、めん羊、山羊、豚、いのしし、鶏(シャモ、チャボ、ウコッケイ等を含む)、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥および七面鳥。

※愛玩用(ペット)であっても報告が必要です。

○**報告様式** 十和田家畜保健衛生所ホームページからダウンロードしてください。

※令和3年から新しい報告様式になりました。令和2年以前の報告様式は使用できませんので、ご注意ください。

○**提出期限** 令和3年2月26日(金)

○**提出方法** 郵送、ファックスまたは持参で提出してください。

○**提出先** 十和田家畜保健衛生所または町農林水産課(役場分庁舎3階)

問 十和田家畜保健衛生所

☎0176-23-6235
FAX 0176-23-3044

石綿関連疾病にかかった方への補償・救済のお知らせ

石綿を吸い込むことにより発症する疾病には、肺がん、中皮腫、石綿肺、びまん性胸膜肥厚、良性石綿胸水など呼吸器系疾病が多く、その潜伏期間は石綿を吸ってから30年以上と非常に長いことが特徴です。

これらの呼吸器系疾病が石綿を吸ったことが原因であると認定された方には、国が運営する労災保険制度もしくは石綿健康被害救済制度から各種給付を受けることができます。

もし、皆さんのご家族の中で、仕事で石綿を取り扱い、または吸ったことがあり、肺がん、中皮腫等の呼吸器系疾病にかかった方、もしくは亡くなられた方がおられましたら、ご相談ください。

○**相談先** 青森労働局労災補償課
(☎017-734-4115)
またはお近くの労働基準監督署



2月の小型家電巡回回収日

注意事項

- ・テレビ、洗濯機・乾燥機、冷蔵・冷凍庫、エアコンは回収できません。
- ・住んでいる地区に限らず、巡回集会所であれば、どこでも受け付けます。
- ・照明器具は、カバーと蛍光管は回収できないので、取り外してください。
- ・家電製品付属のコードは切断し、一緒に出してください。(パソコンのケーブル類も回収します)
- ・パソコン、携帯電話、スマートフォンなどに保存されている個人情報、必ず消去してください。

問 町民課 ☎0178-56-4218

2月25日(土)【百石中学校区、苗振谷地】

時刻	巡回集会所	時刻	巡回集会所
8:30	東公民館	10:30	一川目
8:45	味祭館	10:50	二川目
9:00	藤ヶ森	11:15	百石中
9:15	川口	11:30	洋光台
9:30	堀切川	11:45	町民交流館
9:45	明神山	12:00	みなくる館
10:00	横道	12:15	苗振谷地
10:15	深沢旧会館		

2月26日(日)【木ノ下・下田中学校区】

時刻	巡回集会所	時刻	巡回集会所
8:30	秋堂	11:30	向山
8:45	木崎	11:45	豊原
9:00	染屋	13:00	北公民館
9:15	間木	13:15	古間木山
9:30	曙	13:30	霧久保
9:45	三田	13:45	木ノ下
10:00	三本木	14:05	豊栄
10:15	伝承館	14:15	町営霊園
10:30	阿光坊	14:35	有桑町
10:45	新敷	14:45	木内々
11:00	洗平	15:00	中野平
11:15	錦ヶ丘		

町ホームページに広告を掲載しませんか?

町ホームページでは、有料広告を限定4枠で募集しています

広告サイズ

縦50ピクセル×横200ピクセル

料金(1枠あたり)

月額3,000円(消費税込)

申込方法

所定の「広告掲載申込書」、「広告掲載者の要件に関する申立書」に「広告案(バナー画像)」を添えて、掲載開始希望月の1か月前までにお申し込みください。申込書などは総務課で配付するほか町ホームページでダウンロードできます。

問 [申込先] 総務課 ☎0178-56-2166

寄附・寄贈ありがとうございます

書籍などの寄贈

12月14日、株式会社青森電子計算センター（八島勝代表取締役社長）が、会社設立55周年を記念し、町立図書館へ書籍41冊と図書館用品（液晶ライブラリーカレンダー、返却本カート）を寄贈しました。

八島社長は「お世話になっている地域の皆さんへの恩返しになれば嬉しいです。ぜひご活用ください。」と話していました。



▲（左から）三浦八戸支店長、八島代表取締役社長、山下町立図書館長

非接触式検知器の寄贈

12月16日、公益社団法人上十三法人会おいらせ町支部（柏崎尚久支部長）が、触れずに検温できる「非接触式検知器（サーマルカメラ）」を寄贈しました。

柏崎支部長は「地域住民の安全・安心の確保のために、使っていただきたいです。」と話していました。寄贈された「非接触式検知器」は、感染症の拡大防止対策のために活用します。



▲（左から）山内副支部長、柏崎支部長

おいらせブランド 推進協議会

おいらせブランド推進協議会は、地域資源を最大限活用し、「おいらせブランド」の確立による地域づくりと、まち産業の活性化を目指すことを目的とした団体です。町内の優れた特産品を「おいらせブランド認定品」として認定・情報発信することにより、町内外へPRしています。

今回は、えごま油とえごまパウダーを紹介します。さまざまな健康効果が期待される注目の商品です！

えごま油



おいらせ町産エゴマ100%を低温圧搾し、無精製のまぎゅっと瓶に詰め込みました。

エゴマの風味を楽しみつつ安心して美味しく、お召し上がりいただけます。

☎ 青森エゴマの会 ☎0178-56-3501

えごまパウダー



えごま油を搾った後のえごまを粉末にしました。

保存料、防腐剤、農薬を使っていないため、からだにやさしいです。

すいとん、天ぷら、サラダなどにお使いください。

☎ 下道建設株式会社 ☎0178-56-3033

☎ おいらせブランド推進協議会事務局(商工観光課内) ☎0178-56-4703

町公式LINEをはじめました

スマートフォンアプリLINE(ライン)による情報発信を始めました。

町の話、イベント情報、おいしいものなど、町の魅力を定期的に発信していきますので、ぜひご登録ください。

町外にいる家族、親戚、友人にも紹介してくださいね。

とっても住みやすいまち、おいらせ町。

- ▶ 町の話
- ▶ イベント情報
- ▶ おいしいもの などなど

町の良いところ、たくさん紹介していくよ。友だち登録よろしくね!

友だち登録方法

- ▶ 下のQRコードを読み込み
- または
- ▶ 「おいらせ町」で検索



注意事項

LINE内での個別のお問い合わせにはお返事できません。役場へのお問い合わせは、電話などをお願いします。

問 政策推進課 ☎0178-56-4273

おいらせ コミュニティ 掲示板

「おいらせコミュニティ掲示板」は、町民の皆さんが行う催し、地域活動の紹介、団体・サークルなどの会員募集を掲載するコーナーです。参加費の記載がないものは無料です。



内容を随時募集中! 詳しくは、お問い合わせください。

問・申込先 総務課 ☎0178-56-2166



令和3年1月1日現在

前月比

男性 12,201 人 (85) + 15

女性 13,087 人 (176) + 11

合計 25,288 人 (261) + 26

世帯 10,548 世帯 (142) + 19

※外国人を含めた数値です。
()内は外国人の人口・世帯数です。

ま ちの 人 口



町教育委員会定例会の開会情報

- 日時 2月15日(月) 15時～
- 場所 東公民館 2階ホール

※日程は変更となる場合があるほか、議題により退室いただく場合があります。

※マスク着用のうえ傍聴ください。5人以上で傍聴する場合は、前日までに連絡ください。

問 学務課 ☎0178-56-4258

編集後記

今

月の表紙は、いちよ
う公園にある「日
本一の自由の女神像」の
お顔を撮影しました。数
十年生きてきました、
女神像をこんなに近くで
見たことはありません。実に凛々
しいです。改修工事の時でない
とお顔を拝見できないので、か
なり貴重な1枚だと感じていま
す。

ところで、皆さんも普段見慣れた風景を、いつもと違った視点で見るとはいかがでしょうか? きっと何か発見があるかもしれません。私も鏡に写った自分の顔を、いつもと違う角度で見たら、シミなのかホクロなのか、よく分からないモノが出来ていました。見つけて良かったです。

自分の業務にも言えますが、物事をいつもと違う視点で見ると、心がけたいと思います。



▲今月の1枚。「地域の集会場をボランティア除雪する方々」町内には、ボランティア除雪をしている方が、たくさんいるのだと思います。いつもありがとうございます。

総務課 広報広聴係
「馬場祐二」

※写真本人提供



▲「コンセ」で作っているハーブソルトやハーブティーなど



▲赤石さんが育てたハーブ



ハーブ普及への新たな挑戦

あかいし えいじ

赤石 英二さん

北緯40度のハーブ専門農家

(青葉)

Profile

35歳。ハーブ専門農家。ハーブの生産・加工・販売まで行う「コンセ(CONSE)」の代表。前職は大学職員。国内のハーブ農園で農法を学んだことをきっかけにハーブの道へ進む。修行後の平成27年、妻の美樹さんと一緒に「コンセ」を開業。商品の「ハーブソルト」は、町ブランド認定品になっており、「にっぽんの宝物グランプリ」で青森県グランプリを獲得。

インターネットラジオ(PODCAST)「はぶかん」でハーブの魅力を発信している。

「おいらせ町は、ハーブ生産地のヨーロッパ地中海や北米と同じ北緯40度。比較的雪が少なく、清らかな水ときれいな環境があるため、ハーブの生産に適した町です。」と語るのは、ハーブ専門農家の赤石英二さん。農薬や化学合成肥料を使わず、土・水・光・手作業にこだわった農法で育てたハーブは、生命力豊かで高品質。県内外のレストランなどで使用されています。

商品化にも力を入れており、町ブランド認定品「ハーブソルト」やハーブティーなどの開発・販売も行っています。「塩や水などの素材と、それに合うハーブの組み合わせを厳選するため、試行錯誤してきました。大変な時期もありましたが、農法も含め、一番良いものを作りたいという想いで、日々研究しています。」

現在「コンセ」では、町内にハーブ専門店「コンセファイナンド」をオープンする準備を進めています。そこでは、「コンセ」の商品のほか、ハーブグッズや他のお店などとコラボした商品を販売する予定です。「お客さんが「ハーブの新しい魅力をみつけるお店」にしていきたいです。もっとハーブが皆さんの身近になるように、これからは普及に力を入れていきます。」と意欲をみせる赤石さん。ハーブ普及を目指した新しい挑戦が始まります。



「子どものびのび 大人いきいき ともにつくるまち」の情報誌

広報 おいらせ

No.192 2021年2月1日発行号

発行 おいらせ町/〒039-2192青森県上北郡おいらせ町中下田135-2
☎0178-56-2111 FAX 0178-56-4364
http://www.town.oirase.aomori.jp
印刷/株式会社 朝日印刷



フェイスブックおいらせ町公式アカウントへの「いいね!」をよろしくお願いいたします。
<https://www.facebook.com/oirasetown/>

facebook おいらせ町役場 検索

